



百合子研究会運営委員の岩崎さん。岩崎さんは長崎県生まれで、岩崎日香さん、崎明さん。

今年の講演者は、多喜二・百合子研究会運営委員の岩崎さん。岩崎さんは長崎県生まれで、岩崎日香さん、崎明さん。

第五回目となつた「愛知多喜二祭」が2月26日、治安維持法賠償同盟も参加する実行委員会の主催で行われ、100名以上が参加しました。

今年の講演者は、多喜二。百合子研究会運営委員の岩崎さん。岩崎さんは長崎県生まれで、岩崎日香さん、崎明さん。

多喜二の生き方と作品そのものを味わうことができる

ということは本当に嬉しい

といふことを述べ、今回、一緒に

原爆と平和ということにあ

る」と述べ、今回、一緒に

愛知多喜二祭開催される



No.211

2023年3月15日
発行者：治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟
愛知県本部
461-0004 名古屋市
東区葵1-22-26
愛知民主会館内
Tel:090-9175-9598
Fax:0564-79-0561
メール
:qdcs014344
@yahoo.co.jp

私たちの運動の基本

- 一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと
- 二、國は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- 三、國は治安維持法体制の復活に反対する



性をも、搾取し支配する仕組み、それを正当化し強化するための「女らしさ」「男らしさ」を押し付けてきた固定観念によつてどん

なに人々が苦しめられていふか、それを打開していくことがどんなに大切かといふことをきちんとベクトルを持つて描いていくことがひしひしと伝わつてくるとし、講演を開きました。

西田一廣

■県同盟の現勢

3月1日 777名

【入会者】

ありませんでした

【退会者】 3名

稻沢支部2名 尾北支部1名

多喜二祭で

県女性部主催 早春のつどい開催される

自作の詩を披露

名南支部の土井照雄さんが多喜二祭の中で多喜二を語る自作の詩を朗読されました。

3月2日、県女性部主催「早春のつどい」・DVD 「上映会」が、愛知民主会館ホールにて開催されました。(25名参加)

昨年3年ぶりに開催された全国女性交流集会での田村智子さんの記念講演「平和と暮らしを守り、ジェンダー平等の実現へ、不屈のたたかいを受け継ぎ新しい時代を拓こう」と「燃やし

続けた炎」の2本でした。司会は山本佳代子さん。ホット飲料とお菓子も準備され田中節子女性部長の挨拶に続き、DVDを鑑賞しました。

多喜二さん どうしていますか
あれから90年
私たちは 忘れていません

いま 大軍拡 大増税
歴史の転換点です
どうしたらしいですか

筆を持つ指は治りましたか
「蟹工船」「党生活者」のような作品に
出会えず残念

気が遠くなれば 水をかけられ
蘇生すれば また繰り返す
主権天皇制 戦争反対の声も封じる

心も 正義も 減多打ち
それでも決して負けはしない
それは戦後 平和憲法へ繋がりました

特高5000人は直ちに追放 すぐ復活
戦犯 財閥 検察も復活
貧困 差別はとめどもなく拡がる

いま 大軍拡 敵を作り 先にやっつける
反共は戦争の前夜 国民支配の要なり

それでも 多喜二さん もう一度
立ち上がりませんか ワンモア ドウ
今度は死なせません

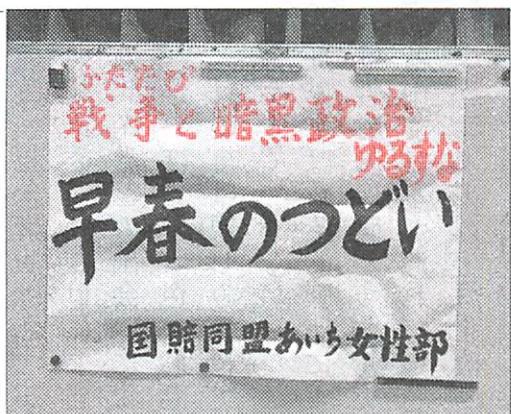
憲法を守り 生かし
明るい道で 待っています

2023.2.26 名南支部 土井照雄

視聴後の発言では岩田義道没後90周年記念の取り組みなどが話されました。

会場にはDVDで犠牲者が胸に飾つておられた「ミモザ」の花もあり、カンパも多く寄せられました。

平和への連帯の思いを込めて参加者から感想を寄せ



ていただきました。

一宮支部 岩田順子さん

愛知女性部会集会に参加しました。

ました。

次世代に平和な社会を引

ペイン、ドイツ、イタリア、オーストラリア、韓国、カ

と「燃やし続けた炎」のDVDを視聴し、戦前の困難との思いを新たにしました。V Dを視聴する女性の参政権もない時代、治安維持法の犠牲者の女性たちの不屈のたたかいを知りました。

昨年五月、一宮で上映された「我が青春つきるともー伊藤千代子の生涯」を思い出しました。絶対主義的天皇制の時代に信念を貫き、弾圧に負けず不屈にたたかった女性たちの姿は衝撃でした。

世界は大きく変わっています。独立国が増え、核兵器禁止条約がつくられました。憲法九条を生かして、遠いアメリカより近くの国々と平和外交を一大軍拡の先に平和はこないまことにその通りだと思いま

き継ぐため、今を生きる私の責任を果たしていきたいとの思いを新たにしました。私は、国賠同盟の名前が、なかなか私の胸にストンと落ちてはおらず、恐怖さえ感じていましたが、歴史を知らないだけの幻でした。私は、国賠同盟の名前が、なかなか私の胸にストンと落ちてはおらず、恐怖さえ感じていましたが、歴史を知らないだけの幻でした。

私は、国賠同盟の名前が、なかなか私の胸にストンと落ちてはおらず、恐怖さえ感じていましたが、歴史を知らないだけの幻でした。

1925年に治安維持法が制定され天皇制絶対主義の体制により国民を無権利状態におき、言論、表現、結社の自由に対する抑圧であるばかりでなく、日本国民をひたすら戦争にかりたてましたが、多くの国民が主権在民、戦争反対を主張しましたが、これまで歴代の自民党政府も戦争放棄と戦力不保持をうたつた憲法9条の下で「持てない」としてきました。他国を攻撃する武器を持とうとしている。

1945年に終戦となり、この20年間で400人余りが獄死している。世界の国々(イギリス、ス

ペイン、ドイツ、イタリア、オーストラリア、韓国、カナダ、アメリカ、チリ)が治安維持法犠牲者への謝罪と賠償をしているが、日本政府は未だに優略戦争とは認めず犠牲者への謝罪と賠償を認めていない。この世代を生きた人々はご高齢で生存している間に一刻も早く謝罪と賠償を政府に強く求めたい。

今、日本政府は軍拡を進め、2022年12月16日に岸田政権は、安保3文書を閣議決定しました。これにより、これまで歴代の自民党政府も戦争放棄と戦力不保持をうたつた憲法9条の下で「持てない」としてきました。他国を攻撃する武器を持つようとしている。

武器は人を殺す物であり平和は守れない。先輩の人々が身体を張つて戦争に反対

したことが現在の平和が存続している証だと思う。

南東支部 三品小夜子さん



司会の山本さん

女性部の早春の集いに参加して、第1部田村智子参議院議員・記念講演はさすが党の政策委員長だけにご自分の共産党との出会いにまでさかのぼって、色々お話をされた事は親しみを持てる方だと思いました。

世界では政治的弾圧による犠牲者の保障がすんでいる中で日本が遅れていることがよくわかりました。

世界では政治的弾圧による犠牲者の保障がすんでいる中で日本が遅れていることがよくわかりました。

治安維持法を反省しない日本政府はけしからんと、ジユネーブに訴えに行かれた太田マチ子さん。当時22歳ですが、マルクス・エ

とだと思いましたし、またあえてひどい治安維持法を名を変えらせてしました。これからもさらなる運動が必要ですし、この戦争前夜といわれる時にこそ、不屈の闘いを受け継いで、新しい時代を拓こうと結ばれました。心にひびくお話をした。

第2部 「燃やし続けた炎」

つどいだつた、つどいを主催された女性部の方々、温かい飲み物や手作りの入ったおやつなど用意いただきました。ありがとうございました。

第34回平和展

日程 2023年3月17日(金)~23日(木)

時間 午前10時~午後6時

※初日は午前11時から開会式

最終日は午後5時から閉会式

テーマ

真宗大谷派の海外侵出 「満州開教」

(前編)

会場 真宗大谷派名古屋教務所1階 議事堂

※名古屋別院(東別院)境内東側

特別学習会(聴講無料)

日程 3月20日(月)午後6時~

会場 名古屋教務所 対面所

講題 「全国水平社と宗教」

講師 近藤祐昭 氏(人権研究所理事長)

真宗大谷派名古屋教化センターより「第34回平和展」開催の案内がありました。ご案内いたします。

第34回平和展